



きこえない人のオリンピック
2025デフリンピックを日本で!

デフリンピックフェスティバル in TOKYO 東西南北

[日時] 2021年3月13日(土) 午後1時～4時

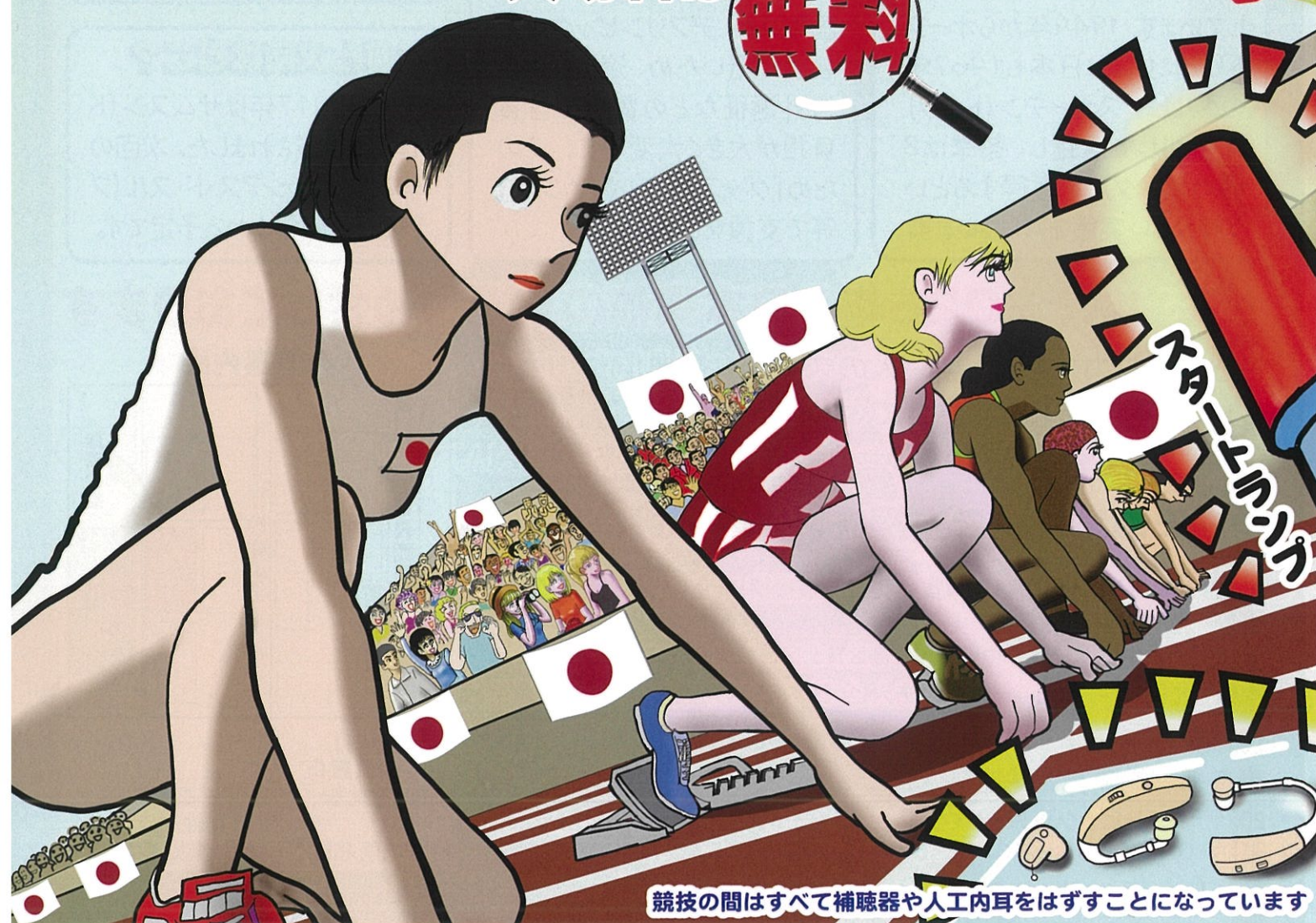
[会場] 赤羽会館(北区)(案内図裏面参照)

- [内容] ・式典、記念講演、デフリンピックの紹介
・デフリンピアンからのメッセージ
・応援グッズ販売 等

※情報保障のため、手話通訳、要約筆記を配置します。

入場料は **無料**

ピカッ



競技の間はすべて補聴器や人工内耳をはずすことになっています

きこえない人の国際スポーツ祭典「デフリンピック」

デフリンピックって何？

「デフリンピック」は世界の耳のきこえない選手が競う国際的なスポーツ大会です。「デフ (deaf)」は英語で耳がきこえない人という意味です。オリンピックやパラリンピックと同様、4年に1回開催されます。

97年間！一度も？

1924年(大正13年)から97年間も続いており、パラリンピックよりも36年長い歴史を持ちますが、日本では、一度も開催されたことがありません。

冬季も？

夏季だけでなく、冬季も開催しています。1949年からオーストリアに始まり日本も1967年のベルヒテスガーデン(ドイツ)に参加して活躍し、冬季は8個の金メダルを獲得するという輝かしい実績を残しています。

特徴は？

競技ルールはオリンピックと同じですが、きこえない選手のための視覚的保障がなされています。

100カ国に迫る勢い？

第1回のフランス大会では参加9カ国でしたが、現在では84カ国が参加しています。

金メダル75個も？

1965年のワシントン大会に初めて参加。1973年のマルメ(スウェーデン)大会で初めて待望の金メダルがもたらされました。現在までの獲得金メダルは75個。日本はデフリンピック参加国の中でも強豪国ですが、デフリンピックの知名度が低いため、選手たちは海外遠征などの費用の自費負担が大きく大変です。そのため「グッズ販売」や「カンパ」等で支援をしています。

視覚的保障とは？

音や審判の合図がきこえないという競技上、選手にとって不利な状況を視覚的に補うなど配慮がされています。

光と旗？

号砲の代わりに光の点滅で『スタート!!』。他にも審判が旗で合図を知らせるなど、さまざまな工夫をしています。

出場条件は？

裸耳状態の聴力損失が55デシベル以上であることです。競技に参加する時は、補聴器などを身につけることは禁止されています。

前回と次回はどこ？

前回の2017年はサムスン(トルコ)で開催されました。次回の2021年はカシアス・ド・スル(ブラジル)で開催される予定です。

私たちは、2025年の日本開催の実現をめざしております

皆さまのお力できこえない人のスポーツ祭典「デフリンピック」の日本開催を実現させてください。

ご家族、知人、友人お誘いあわせのうえ、お気軽にご来場ください。

皆さまの応援、ご支援を、是非お願いします

主催 公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟

主管 北ブロック連絡会

(新宿区、文京区、中野区、豊島区、北区、板橋区、練馬区 の協会)

後援 北区 協力 一般財団法人 全日本ろうあ連盟スポーツ委員会

【お問い合わせ】

東京都聴覚障害者連盟

2025デフリンピック東京招致委員会 Eメールアドレス tfd@deaf.tokyo

電話 03-5464-6055~6 ファクス 03-5464-6057

会場案内図



【交通案内】

JR赤羽駅東口

(京浜東北線、埼京線、高崎線、
宇都宮線) 徒歩 5 分
地下鉄南北線「赤羽岩淵駅」徒歩10分